

第4次熊本県建設産業振興プラン（素案）に関する意見募集の結果及び
県の考え方について

No	御意見・御提案の概要	県の考え方	取扱
1	<p>素案概要の「9 主な取組み」－「3 持続可能な建設産業の育成」－「(4) 適正な市場環境づくり」に「パートナーシップ構築宣言」の推進を盛り込んで欲しい。</p> <p>第4次熊本県建設産業振興プランに明記し、用語の解説欄で説明すればより分かりやすいと思う。</p>	<p>御意見の趣旨につきましては、素案 P36 に「ダンピング対策などの透明で公正な市場環境づくりの推進」及び「適正な元請下請関係の構築、不良不適格業者の排除」を記載しており、その中で対応して参ります。</p> <p>頂いた御意見も踏まえ、適正な市場環境づくりを推進して参ります。</p>	記載済
2	<p>外国人や女性の受け入れ、育成環境の整備を拡充する点について、気になった点を申し述べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業が外国人や女性など多様な人材に対し、職場環境改善に取り組む場合は補助金をつけて外国人を増やしてきた実績が記載されているが、外国人が増えた実績に伴い、その総括がなされていない。 ・ メリットデメリット等、雇用した企業や周辺住民から聴取してはどうか。 ・ 外国人を否定はしないが、「過度な増加」は治安の悪化、地域環境の悪化、特定の外国人が増え集団を作りコントロールがきかなくなる可能性が出てくるなどの懸念がある。 ・ 県内建設業の外国人労働者数は10年前の約10倍の1,667人（令和5年10月現在）となった。 <p>人口減少と人手不足の対策として外国人の受け入れが必要不可欠になると記載があるが、建設業界で深刻化する人手不足の「根本的原因」は何かの考察はあるのか。闇雲に外国人を入れるという対策をとるのではなく根本原因を追究し、その解決策を見出さなければ、日本人の人口減少はとどまらず、人手不足も深刻化し、外国人が増えるだけである。地域の伝統文化の破壊、日本の国體の破壊にもつながりかねない。海外の状況を見て欲しい。</p>	<p>頂いた御意見は、建設産業における喫緊の課題である「人材の確保・育成」の取り組みを進めるうえで、参考にさせていただきます。</p> <p>また、外国人労働者が生活習慣や文化の違い等から生じる偏見や差別的扱いを受けないように、「多文化共生の推進」並びに「外国人労働者の受入環境整備」について、関係部局と連携を図って参ります。</p>	参 考